

ヘルパーを絶滅危惧種にさせない！



ドキュメンタリー映画

住み慣れたところで安心して暮らしたい(仮題)
ホームヘルパーのいる風景

映画製作のためのクラウドファンディングに
ご支援をください

2026年2月20日(金) 公開！ (READYFOR)

いま介護の現場からは悲鳴が上がっています。

深刻な人手不足と高齢化により、訪問介護は存続の危機に直面しています。
ヘルパーは高齢者や障害者の日々の暮らしの支え手であり、いのちの守り手
としなくてはならない重要な働きをしています。

そのヘルパーがいなくなるということは、決して他人ごとではありません。
そのことは、私たちが「住み慣れた家で安心して老いる」という選択肢を失い、
現役世代が介護離職に追い込まれていく未来を意味します。

この静かな社会の崩壊を見過ごしたくはありません。

現場では何が起きているのか？そこで働く人たちはどんな思いで働いているのか？

本作は ” 当たり前 ” として見過ごされてきたケアの実働を記録するドキュ
メンタリー映画です。

この映画を世に届けるためにクラウドファンディングに挑戦します。

どうかこのプロジェクトに力を貸してください。

ドキュメンタリー映画

住み慣れたところで安心して暮らしたい（仮題）



ホームヘルパーのいる風景

2025年は「団塊の世代」がすべて75歳以上（後期高齢者）になり、全人口の18%を占め、2040年には65歳以上人口は全人口の35%になると推計されています。

3人に1人が高齢者という超高齢社会にあって、介護を必要とする高齢者も今後ますます増え続けていきます。そこでなくてはならないのが介護の人材です。

施設や在宅に限らず、だれもが望むところで安心して暮らすことができる社会が私たちの願いです。

ピース・クリエイトでは、これまで1年半にわたって全国各地の訪問介護の現場取材してきました。それらの映像を編集し映画として完成させるために、現場で働くヘルパーや介護の専門性について研究し、その人材養成に努める大学教授、また家族の介護の体験者などによる「より良い介護を考える映画製作委員会」が立ち上がり、総力を挙げて取り組んでいます。

完成した映画のクレジットタイトルにはご支援くださった方のお名前とともに、豊富なリターンも用意しています。右下のQRコードからでもプロジェクトページに行きます。どうか、クラウドファンディングにみなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

**クラウドファンディングの期間は2026年2月20日から
4月10日までです。**



企画 より良い介護を考える映画製作委員会

製作 ピース・クリエイト有限会社 監督 宮崎信恵

【完成時間】90分（予定）

【製作スケジュール】 企画 2024年6月～撮影 2024年9月～2026年5月

編集 2026年2月～2026年9月 完成予定 2026年10月

より良い介護を考える映画製作委員会

代表 井上千津子

大崎千秋 島村八重子 辻浦塔子 戸嶋 愛 奈良 環 箱崎利美 藤原るか 森山千賀子 八木裕子

連絡先(運営主体)

〒135-0051 東京都江東区枝川3-9-10-319

ピース・クリエイト有限会社 電話03-3699-4883 FAX03-3699-4407

WEB:<http://www.peace-create.bz-office.net>

事務局 箱崎利美



<https://feadyfor.jp/projects/162400>